

つなぐ

ふるさと宇和島／南予

新春号

2022 No.17

ご自由にお取りください



特集
1

宇和島信用金庫 創立 100 周年企画
宇和島の近代化と城堀り

特集
2

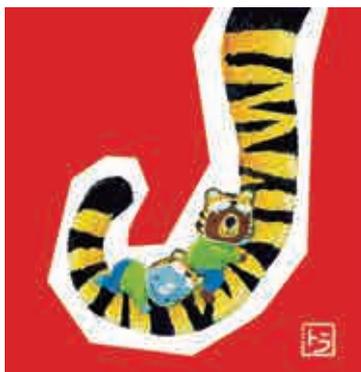
大正浪漫
高島華宵の魅力

インタビュー 西本酒造 前当主 西本 勝

つなぐ 2022 January 新春号

C o n t e n t s

- 01 エッセイ 「潮音寺が消えた」 宇神 雪斎
- 02 インタビュー 西本酒造 前当主 西本 勝 「優秀な人をつかめ」
- 04 撮り歩きなんよ 「霜の朝」 写真家 北濱 一男
- 05 特集 宇和島の近代化と城掘り
- 10 特集 高島 華宵
高島華宵とその家族／高島 澄江 高島華宵が描いた世界／高島 麻子
- 14 鉄女 やましたあや&
鉄道カメラマン つぼうちまさみ **予土線特集やりよります7**
- 18 ツナグ昭和館 内港 一思い出の厚生車があったころー 田部 司
- 19 布絵本づくりボランティアグループ 「つ・く・し」
- 22 残そう！津島の「六宝」
- 23 南予の祭り歳時記 「宇和島市の八ツ鹿踊り」 愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 大本 敬久
- 24 うわしん若手経営塾OB
若だんな 6 株式会社 谷本総合保険事務所 代表取締役 谷本 竜太
- 25 新型コロナワクチン追加接種と治療薬 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 27 新たな発想を生み出せる人材づくり 「キャンパス」 始動！
- 29 斗酒百篇 / 4コマ漫画 「きさいやくん」 **NEW**



表紙 / 「トラさんにあやかる」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ、愛媛県宇和島市出身。
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす。
現在は個展やイベントへの出品等で活動中。



宇和島市 南楽園の梅 (撮影/北濱一男)



つなぐ新春号 No.17

〒798-0041 宇和島市本町追手 2-8-21
0895-23-7000

年4回発行 (季刊誌)

配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか

発行 / 宇和島信用金庫

編集・構成 / 業務推進部 広報文化室 川尻

本誌掲載内容の無断転載を禁じます

※1 アランの『幸福論』に、こんなことが書かれていた。朝、あなたが誰かと会ったら、「今日は体調が悪い」とか「歯が痛い」とか、そんな話をしてはいけない。聞かされる相手は楽しくないし、嫌な気分が伝染し、はては世の中が暗くなってしまう。

とまあ、そういうことだったと記憶する。であるから、新春早々、憂鬱な話はしたくないのだが、私にとって令和3年は嫌な嫌な年であった。

3月から、禁煙に挑戦した。3ヶ月間通院するのであるが、ファイザー社製のチャンピックスという薬を服用する。このチャンピックスには吐き気、腹部膨満感、悪夢を見るといった副作用があるという。

すぐに副作用が出た。眠ると、きまぐれ悪夢を見る。その悪夢とは、私のかつての上司の石橋さんが出てきて、とうとう実現不可能なことを私に命じるのである。さまざまな無理難題にこたえるべく、私は東奔西走するが、失敗の連続。目が覚めると、「ああ、夢だったか」とほっとする。これが毎日、続くのである。

たまらないので、「薬なしで禁煙を続けたい」と医師に訴えると、「薬を飲むのが目的ではなく、禁煙が目的なのだから、今後は薬なしでやってください」とおっしゃる。チャンピックスの服用は1週間

※1) 「現代のソクラテス」と評されるフランスの哲学者。



解体される潮音寺 令和3年11月（筆者撮影）

ちょうおんじ 潮音寺が消えた

宇神 雪齋

で中止し、頑張ること3ヶ月、私は卒煙証書というありがたいものを貰った。

しかし、禁煙の効果は感じられず、むしろ胃腸の調子は禁煙前より悪く、持病の不整脈も治らない。そこで、ある開業医に相談すると、

「これは医者と言ったことではないかもしれませんが、ストレスがあまりにひどいのであれば、煙草を喫ってください」とおっしゃる。優秀なお医者様に「煙草を喫え」と言わせてしまった私は、大いに反省し、神妙に禁煙を続けた。

1日たりとも酒を飲まない日はなく、これが悪いのかもしれないが、秋風が立つ頃にはやや快方した。調子のよい日には、美味しいものを食べたいと思う。土佐清水でハガツオの刺身を食べたときは「ああ旨い。生きていてよかった」と涙がこぼれた。

なお、ファイザー社のチャンピックスは製造中止になった。発がん性の疑いがあるという。新型コロナのワクチンは、私もあなたもファイザー社製を注射した。今後、どんな災厄に見舞われるかわかったものではない。せいぜい美酒佳肴を楽しんでおくべきである。

話かわって、令和4年は36年に1度の「五黄の寅」である。この年に生まれた女性是最強という。私の母は五黄の寅だった。古来、虎は1日に千里往って千里還

るといい、戦時中、母は出征兵士の千人針にひっぱりだこだった。もつとも、五黄の寅の女性は強すぎて夫を食い殺すともいう。母に食い殺されたとは思われないが、父はかなり早死であった。

私は22歳のとき、2歳年上の女性の美貌に目がくらみ、デート3回目でご結婚した。実は、わたしには婚約者がいます、ということであえなく失恋に終わったが、彼女は五黄の寅であった。

また話かわって、寺町界隈から潮音寺ちょうおんじが消えた。解体されたのである。潮音寺には墓地があり、だから檀家もあるはずだが、廃寺になったようだ。

潮音寺とは、いかにも宇和島らしい、美しい寺号である。消えたのは残念というほかない。

※2) 兵士の生還を祈って、白布に女性が赤糸で玉結びを作る風習。



宇神 雪齋 うがみせっさい

作家・音楽評論家。
小説は『水のゆくえ』（角川書店）『ヴァルハラ城の悪魔』（講談社）など。
近年は『宇和島藩』『伊予吉田藩』『幕末の女医楠本イネ』『宇和島伊達家の女性たち』などの歴史書がある。
近著は『三島由紀夫 VS 音楽』。
本名 / 神應幸男

「優秀な人をつかめ」

西本酒造 前当主 << NISHIMOTO MASARU 西本 勝

今年の正月も「虎の尾」を年頭の酒に選ばれた方も多かったのではないだろうか。宇和島市で唯一の造り酒屋西本酒造の「虎の尾」は、日本酒通の間でも人気が高い。寅年ということもあり西本酒造の前当主、西本勝さん（90）にお話を伺った。

西本酒造の前身は、吉田藩伊達家の藩政時代から続いていた「桑名屋」という上酒屋で、「虎の尾」は藩内でも知られた銘柄で、大正時代の中頃には法人化され虎の尾醸造株式会社となっていた。

勝さんの父は、瀬戸町（現在の西宇和郡伊方町）の出て、昭和の初め頃、一族で宇和島に出て米屋をしていたが、その後、根無川（宇和島市下高串）にあった酒造会社を買いつて新たな一歩を踏み出した。しかし、二年後、国の「企業整備」という政策により、せつかく手に入れた酒造会社を廃業させられてしまう。そんな折に、三間町宮野下にあった虎の尾醸造株式会社の譲渡話が舞い込み、ここに西本酒造が誕生する。

勝さんは、宇和島中学に進み、昭和24（1949）年、戦後の学制改革によって宇和島東高等学校第一期生として卒業、慶応義塾大学へ進んだ。大学卒業後は海外映画の配給会社に就職しようとしたが、家族、親類の猛反対にあい、家業のあとを継ぐよ

※1) 上等の酒。品質のよい酒をつくる酒蔵のこと

うにと呼び戻された。

昭和32（1957）年、結婚して間もないころ、広島義父が父にこんな話を持ち込んできた。――

「最近、映画にもなつて巷で話題の獅子文六の小説『大番』というのがあるじゃろ、ええ名前じゃけん酒の銘柄にしたらどーかいの・・・」父は、義父の提案をあつさり受け入れ、主軸銘柄を「虎の尾」から「大番」に変更し、「虎の尾」は焼酎として販売することになる。

当時、世の中は高度経済成長期で、造れば売れる時代だったが、国から厳しく酒造量が管理されていたので、灘（神戸）の大手酒造メーカーなどは、地方の酒造会社から高値で日本酒を買いつけていた。西本酒造も酒造量（約2千石≒36万リットル）の大半を沢の鶴酒造へ売っていた。

そんな時代も長くは続かず、日本酒は徐々に売れなくなっていく。そして、1975年頃になると、追い打ちをかけるように酒造量枠規制が撤廃され、大手メーカーへの販売価格も値下がりし、経営を圧迫した。

そして昭和51（1976）年、そんな時代に別れを告げるように父が他界。当時、徐々に「吟醸酒」など高級志向の酒が珍重され始めていて、生き残る道は、これしかない！と決め焼酎製造中止で浮いていた「虎の尾」の銘柄を新たに吟醸酒として売り出

※2) 大正末期。宇和島近郊の農村に生まれた田舎青年・赤羽丑之助（キューちゃん）の兜町を舞台に相場師として波乱万丈の一生を描いた小説で、同名で映画化され大ヒットした。

すことになった。まさにゼロからの挑戦と言える。

とは言うものの、吟醸酒の製造方法は、さっぱり分からない。分からないのなら教わるしかない！と、高松国税局の指導を仰いだ。10年を経て、どうにか製造はできるようになったものの、決して満足出来るものではなかった。その後、試行錯誤を重ね、新たな酵母も使い、県の鑑評会でも「優」評価を受けるまでになった。

ある時、指導の先生からの進言で過去最高評価の「昭和六十三年熊本酵母」を試してみるようになった。結果、県と四国の鑑評会では「優」、初挑戦の全国新酒鑑評会では「銀賞」という上々の成果を収めることができた。すると先生が「米が山田錦やったら間違いなく金賞は取れたな」と言われた（それまで県下の酒造場の多くは県推奨の「松山三井」という酒米を使用していた）。

この時のことを勝さんは、――
「当時、おおかたの先生はうちに指導にきてくれて、親身になって教えてもらうたんよ。やっぱり優秀な人材を捕まえることが大切やな・・・」と振り返る。

日本酒は酒米の精米歩合やアルコールの有無などによって、大きく5種類（大吟醸酒・吟醸酒・本醸造酒・純米酒・普通酒）に分類される。その中で最高峰に位置づけされるのが

大吟醸酒だ。その大吟醸酒に使われる最高の酒米といわれるのが山田錦で、中でも兵庫産が最高とされ、少量では仕入れることが出来なかった。当時、県下で唯一、その山田錦を仕入れる事ができていたのが、四国中央市にある梅錦山川酒造だった。同様に県下の酒造会社が困っていることを知った梅錦山川酒造が山田錦を融通してくれる事になり、こうして全国新酒鑑評会「金賞」受賞へ向けた準備が整った。

「虎の尾」は、平成13（2001）年の全国新酒鑑評会において念願の金賞を受賞したのをきっかけに、4年連続金賞を受賞し、名実ともに地域を代表する名酒となった。

近年、消費者の嗜好が変化し、今まで需要が少なかった新酒が売れたら、一升瓶よりも小瓶が好まれるようになってきているというが、依然、「虎の尾」の人気は高い。

娘婿の仲谷一郎さんが三代目の当主（社長）となられているので、しばらくは、あの口の中で華やかに広がる虎の尾の味わいを楽しめそうだ。

インタビュー・構成／川尻純滋



大吟醸虎の尾 1800ml 5700円（税込）



年季の入った搾り機といっしょに

撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



2017年12月20日撮影

霜の朝

前夜の予報で霜注意報が出ていたので、早起きして米どころで知られる宇和盆地へ向かいます。

霜が降りた早朝は手が凍える寒さです。田んぼに朝陽が顔を出すと白かった田んぼが赤く染まり、「わらぐろ」の影が伸びてきます。この風景を撮影するため寒い中、いつも同じ顔ぶれの地元のカメラマンが数人並びます。1970年代頃までは、稲刈りが終わった田んぼには多くの「わらぐろ」が整然と並び、宇和盆地の風物詩でしたが、現在では、区画整理や機械化が進み数基が造られるだけです。

(「わらぐろ」は予讃線伊予石城駅の前にあります)

※「わらぐろ」とは、この地に古くから続く稲わらを乾燥貯蔵するために積まれた三角ぼうしのような造型を言い、この地域の農村文化の象徴。



米どころの宇和盆地には珍しい畑にも霜が降りていました。



北濱 一男 写真家

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめが、本格的な写真歴は約20年。現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。「撮り歩きなんよ」(ブログ) <http://uwatu.blog135.fc2.com/>

宇和島信用金庫創立一〇〇周年企画2

宇和島の近代化と城堀り

大正時代の追手門と堀

追手門は城の正門で、宇和島城の追手門は、門の上に櫓を渡した渡櫓と呼ばれるもので、その大きさから「十万石には過ぎた門」と謳われた。昭和9（1934）年に国宝に指定されたものの、昭和20（1945）年7月12日の空襲で焼失してしまった。

この写真は、大正10〜19年頃、現在の本町追手にある立花仏壇店辺りから撮影されたもので、老婆の向こう側が現在、宇和島信用金庫本店が建っている辺りになる。等間隔に提灯のようなものが並んでいるのは土橋で、手前の堀はまだ埋められていない。追手門の奥に見えるのは城山（宇和島城）だ。

本号では、愛媛県立歴史文化博物館の専門学芸員平井誠氏のご協力を得て、平地の少ない宇和島市において、近代化とともに市街地の中心にあった城堀りがどのように変化していったかについて、ご紹介する。

（写真提供：宇和島市立伊達博物館）



近代における城下町宇和島のうつりかわり

わがふる里の城山に

父と登りてながめたる

入江の彼の夕けしき

忘れぬ影は今もなき

これは宇和島駅前の石碑に刻まれている

『散步唱歌』（明治34年発表）の一節である。作詞は宇和島出身で国文学者・歌人・詩人の大和田建樹。建樹は時代の転換期に城山を見ながら成長した。後年に宇和島を振り返るとき、城山の存在は特別だったのだろう。現在、宇和島城は「お城山」の愛称で市民に親しまれ、太守は宇和島のシンボルとなっている。しかし、建樹が見た宇和島城とは大きく異なる。明治以降、多くの櫓や門が取り壊され、堀も埋め立てられた。威容を誇った追手門も昭和20（1945）年の空襲で焼失した。幕末の絵図や近代の地図を見ると、城下町宇和島の変化がよくわかる【図1参照】。そこで、今回は宇和島を例に近代における城郭の変遷と城下町の近代化について紹介したい。

明治6（1873）年、陸軍省が管轄していた全国の城郭は、陸軍省が軍隊を設置する「存城」と大蔵省が処分する「廃城」とに区分された。愛媛県では宇和島城のみが存城で、概ね堀から内側が存城地とされた。存城内に居住する土族は、退去命令が出るまで居住することを許されたが、借地

※1) 当時の愛媛県は、石鉄県と神山県に分かれていたが、ここではわかりやすく「愛媛県」と表記した。

料を徴収され、地形や景観の変換を厳禁された。土族の中には将来を慮り、自主移転する者も現れた。そのため、陸軍省は旧藩からの受領地に限って借地料を徴収せず、退去を命じた際には換地と移転料の支給を法的に認めた。

存城は保存する城郭ではなく、軍隊を設置する場所であるため、兵営の建設に支障があれば取り壊された。明治13年、宇和島の潮分櫓、材木蔵（材木蔵角櫓のことか）、搦手門櫓も老朽化のため入札が許可されている。一方で同21年、養蚕のために櫓と追手門を、蓮根栽培と養魚のために堀を借用したいと願が出され、前者は火災の懸念から不許可、後者は許可されている。城郭の取り壊しと再利用が同時に進んでいたことは興味深い。

明治6年、石鉄県と神山県が合併して愛媛県が誕生し、松山に県庁が置かれた。そのためか、松山城が存城化され、宇和島城に軍隊は設置されなかった。このような存城は旧藩主に優先的に払い下げられた。同22年、旧藩主伊達宗城は政府に「家祖開興ノ旧蹟」を「永世保存」するため払い下げを願し、翌年、9900円で許可された。

明治21（1888）年、市制・町村制が公布され、翌年、34町を以て宇和島町が組織された。同23年、初代町長に民権家の山崎六が選任され、町役場は広小路の山家

四郎邸を借用した。（以下、町名は記載内容にあわせ、基本的に旧町名を用いた）23年度予算は、歳入1207円70銭5厘、歳出1207円49銭4厘。町制施行時の人口は不明だが、同20年末現在の人口は1万933人となっている。

明治に入って武家地は大きく変化した。かつて家老や上級武士の屋敷が並んだ堀端通や広小路には、明治10年に裁判所、同17年に警察署、同22年に町役場、翌年に郡役所、同29年に税務署が建設され、官庁街の様相を呈した。また、武家屋敷跡には学校も多く設立された。同23年には旧家老松田屋敷の広小路側に宇和島尋常小学校が新築、同29年には作事跡に愛媛県尋常中学校南予分校（同31年に丸穂村鶴島へ移転、翌年に愛媛県立宇和島中学校になる）が開校した。続いて、同32年には桜町に町立宇和島高等女学校（同34年に愛媛県立宇和島高等女学校となる）が、同35年には丸之内に町立宇和島商業学校が開校している。なお、医療や文化施設として、同43年に町立宇和島病院の仮病院（翌年堀端通の新病院へ移転）が翌年に伊達図書館が広小路に建設されている点も注目したい。

宇和島城の堀は、明治から大正にかけて埋め立てられた【図2参照】。まず、明治33〜34（1900〜1901）年に追手門外〜内港前を、同42年に追手門外〜現市立



ひらい まこと
平井 誠

愛媛県歴史文化博物館
専門学芸員

明治期における城郭の変遷をテーマに調査研究。最近では戦争と平和をテーマに平和学習などを通じ学校との連携を模索。

病院角を、同42〜43年に現宇和島東高等学校角〜内港前を埋め立てた。続いて、大正2（1913）年に現市立病院角〜現宇和島東高等学校角を、昭和24（1949）年に内港の一部を、同35年に現宇和島東高等学校角と内港の残存部を埋め立てた。この内、明治42〜43年の埋め立ては、堀の一部である内港の浚渫と一体的に行われた。

内港は長い間浚渫が行われず、土砂が堆積して船の出入りが不自由になっていた。陸上交通に恵まれない宇和島にとって、内港の問題は交通にも産業にも影響した。これに対応したのが中原渉町長である。内港を浚渫した土砂で辰野川の河口と堀の埋め立てを行い、後に榊形町、栄町、港町として市街地化した。大正8年、その功績を伝えるために「中原町長頌功碑」（穂積陳重）が建設され、現在も消防署裏に残っている。堀の埋め立てや内港の整備により、商業地区は裡町や本町から追手通、それに続く袋町や堀端通、内港周辺の堅新町や横新町へ移った。「市勢一覽 宇和島市街地図」（昭和6年）【図3参照】によると、「宇和島の銀座」と称された追手通には、劇場の融通座タナベ眼鏡店、唐饅の清水菓子店、蜜饯の霊月堂、三階建ての花屋旅館、カフェエミカド、万年筆専門の岩村萬年堂などが並んでいた。追手門周辺（丸之内）には、映画館の中央キネマ、明治35年創刊の南予時事新聞社、蔦屋旅館などがあつた。

※2) 水底をさらって土砂などを取り除くこと。

堀端通と向かいの丸之内には、明治44年開業の木屋旅館、書籍の杉山昭文堂、大正11年創立の信用組合（当時の正式名称は宇和島信用購買組合、現宇和島信用金庫）、同7年に創業の宇和島自動車（設立は昭和3年、当時の正式名称は第二宇和島自動車）などが建っていた。堅新町や横新町には、「宇和島の御三家」と称された豪商の一つ堀部本店（醬油業）や五十二銀行（現伊予銀行）のほか、内港に面して煉瓦造りの宇和島運輸、アーチ型の窓が特徴的な二十九銀行（現伊予銀行）が異彩を放っていた。

宇和島町は、大正6（1917）年に丸穂村と、同10年に八幡村と合併、市制を施行した。翌年、初代市長に元衆議院議員の山村豊次郎が就任した。市制施行時の人口は3万2274人。山村は、同14年に県下初となる上水道の敷設工事を起工するとともに、新庁舎を公会堂付近に建設した。この新庁舎は、当初煉瓦造りの予定であったが、関東大震災を教訓に鉄筋コンクリートが使用され耐震化が図られた。当時再び内港の堆積が問題となり、大正10〜14年に土砂の浚渫と小笠原新田、泉屋新田の埋め立て（泉屋新田の埋め立ては、市制施行以前からの継続事業）を行い、後に朝日町、弁天町、寿町として市街地化した。その後、内港の根本的解決策として、須賀川の付け替えが議論された。花街の移転問題などで難航したが、昭和5（1930）年に起工式が行われ、同7年に完成している。しかし、同5年の市会議員選挙で反市長派が勝利、山村は市長の座を退き、再び国政の場に戻っていた。

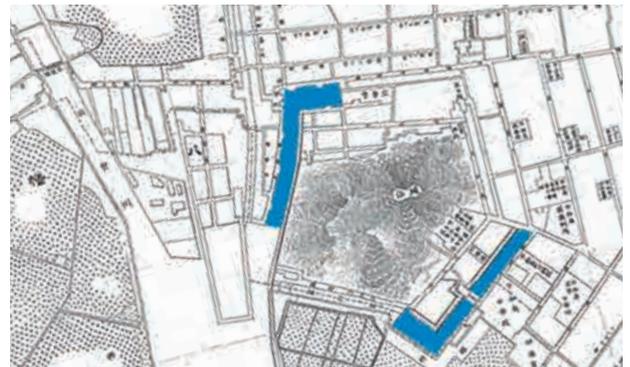
山村が市長の頃（大正11〜15年初代市長昭和2〜5年3代市長）の宇和島の産業を統計から見てみよう。大正15年末の工場数は130社、その内主なものは、生糸製造が28社、印刷・鉄鋼が各17社、製材が16社、織物製造が1社。同年次の出入船舶数は、汽船が約1万艘（対10年次比約3倍）、帆船が約1.2万艘（約6割）。汽船による荷客数は、「出」の人員が約23・7万人（約2.2倍）、貨物が約75万トン（約1倍）、「入」の人員が約23・8万人（約2.4倍）、貨物が約12・8万トン（約1.1倍）。主要移出入貨物の内移入は、綿糸が約21・3万円（15年移入額の約14%）、米が約201・6万円、移出は、生糸が約1060・4万円（同約56%）、綿織物が約318・5万円。主要産物は、生糸が約561・4万円（15年主要産物の内、工産品額の約45%）、綿織物が約261・8万円。これらの数字から汽船による人流が大きく増加し、生糸の移出が目立つとともに、綿糸の移入と綿織物の移出も盛んだったことがわかる。

宇和島城は、明治以降に多くの櫓や門が取り壊され、堀も埋め立てられた。文化財保護の視点から考えると、市民としては残念な感情もある。しかし、平地の少ない宇和島が、近代都市として様々な施設を整備し、産業を発展させる上で、堀の埋め立てと内港の整備は大きな役割を果たした。堀の埋め立ては、城内と城外の区別をなくし、一体感を醸成したであろう。また、堀を利用した内港は、様々な意味において宇和島の玄関であったろう。今後、私達は宇和島城をどのように活用するか。過去を振り返りながら、将来を模索する必要がある。

図1 城下町宇和島の変遷 (②は宇和島市教育委員会提供、①③④は当館蔵。筆者が地図の一部を抜粋の上、書き込みや着色をして作成した)



① 宇和島御城下地図 安政2（1855）年頃
城郭の周囲を堀がめぐっていた様子がよくわかる。



② 実測宇和島市街図 明治43（1910）年
明治30年代から堀の埋め立てが始まった。堀を利用した内港と搦手周辺に残された堀を確認できる。



③ 市勢一覧 宇和島市街地図 昭和6（1931）年
内港は宇和島の交通や産業において大きな役割を果たした。



④ 最新 宇和島市街地図 昭和10（1935）年
昭和7（1932）年、須賀川は北（図の左側）に付け替えられた。

図2 宇和島城の堀の埋め立て (写真提供：宇和島市立伊達博物館)



①追手門 (明治 35 年頃)
昭和 9 (1934) 年、天守とともに国宝に指定された。



②追手通 (明治末期)
左に見える 3 階建ての建物は花屋旅館。大きな柳の古木があった。



③融通座 (昭和 13 年)
歌舞伎などが演じられ、市民の娯楽場として親しまれた。ドーム型の屋根が特徴的である。



④擲手門と豊後橋 (年不明)
土橋の豊後橋を渡ると擲手門があり、さらに上り立ち門へと続いていた。





⑤ 搦手から豊後橋方面を望む（明治31年頃） 奥の建物は新築移転した県尋常中学校南予分校、手前の橋は豊後橋と思われる。



⑥ 材木蔵角樋跡（大正2年）
樋は取り壊されているが、堀はまだ残っており、蓮の葉が浮かんでいる。



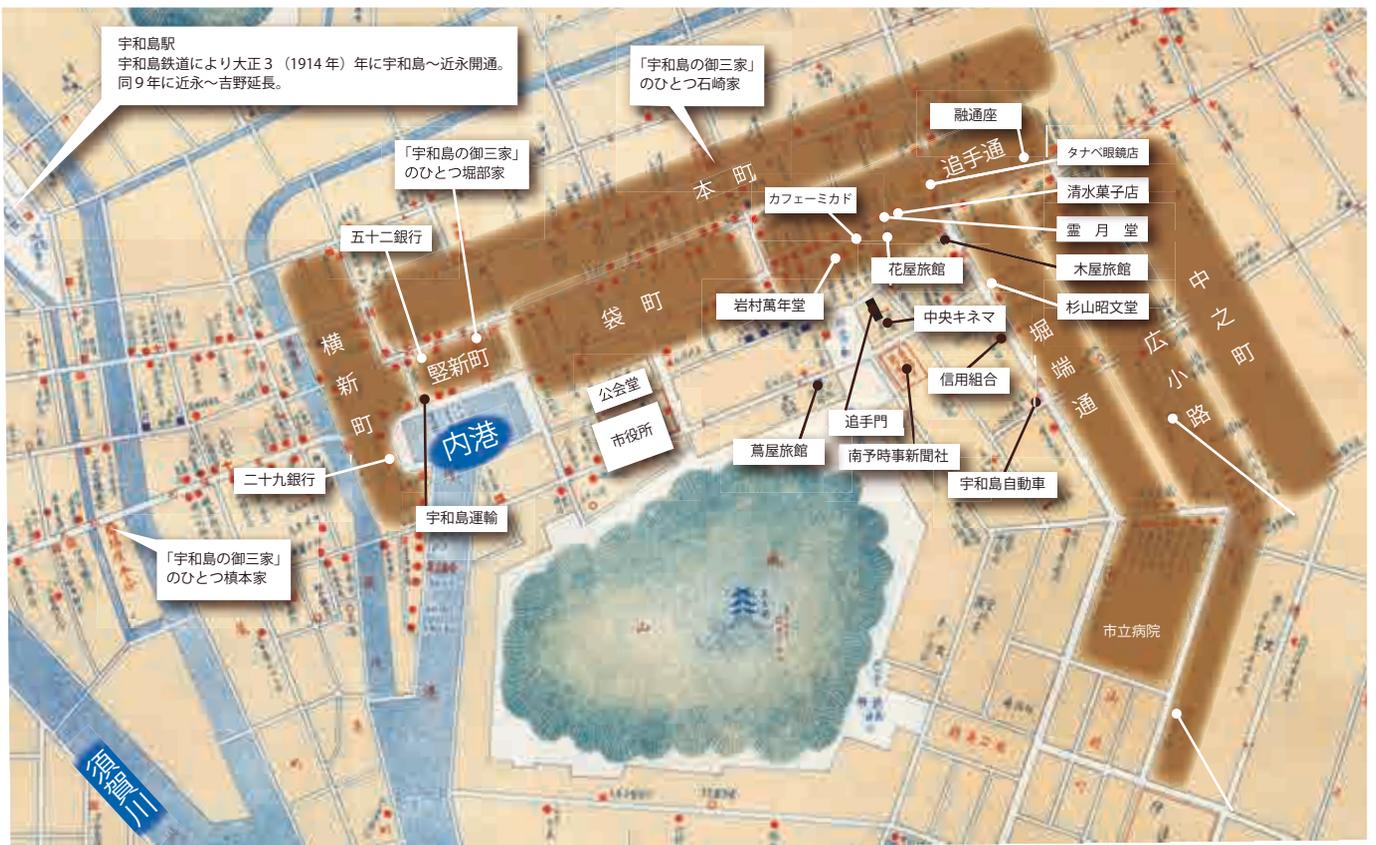
⑦ 内港の賑わい（昭和初期）
内港周辺は出入りの船や多くの商店で賑わった。



⑧ 内港と宇和島運輸（年不明）
時計塔のある煉瓦造りの建物が宇和島運輸である。

図3 宇和島の街並み

（本図は筆者が「市勢一覽 宇和島市街地図 昭和6年」（当館蔵）を一部抜粋の上、書き込みや着色をして作成した）
旧地名とその範囲は、宇和島市教育研究所『私たちの郷土』（同、1968年）p12～14所収「新旧町名対照表」、宇和島市誌編集委員会『宇和島市誌』下巻（宇和島市、2005年）p10 図1、宇和島市が歴史的旧町名標識整備事業で市内各所に設置した標識などを参考に、概略的に記載したものである。





特集

た か ばたけ か しょう

高島華宵

宇和島出身の高島華宵は、大正から昭和初期にかけて当時の少年少女の間で絶大な人気を博した挿絵画家で、その兄亀太郎は衆議院議員や宇和島市長、宇和島信用購買組合（宇和島信用金庫の前身）の役員などを歴任した宇和島の名士と言える。今回、東温市にある「高島華宵大正ロマン館」の高島澄江館長と同館学芸員の高島麻子さんのご協力を得て、大正から昭和初期に一世を風靡した華宵にスポットを当てる。



追手通りを歩く華宵（左）と兄亀太郎（右）

高島華宵とその家族

高島華宵大正ロマン館
館長 高島 澄江

人の人生を線で描くと、一つのパターンとして放物線となることが多い。高島華宵の場合もそれに近かった。宇和島での幼少年期、大阪、京都、東京へと移り住んだ苦難期、大正ロマンの画家として輝かしい成功を修めた鎌倉での全盛期、幾つかの戦争に翻弄され、ハワイ、ロサンゼルス、明石へと移り住む老年期がある。

本文では、残された家族に宛てた二百余通の手紙と雑誌の記録から、華宵と家族との関係を述べてみたい。

まず、大衆画家として全盛期の華宵を育てた基となる幼少年期の生家の様子を概観し、次いで華宵を生涯に亘り大きく支え続けた長兄・高島亀太郎との交流をみる。

高島華宵は明治二十一年、旧宇和島町の生糸商の家に次男として生まれた。長兄、亀太郎は五歳年上である。家は父母、祖父の妹、後に八人の子どもを含めての大家族であった。その頃は、まだ幕藩時代の風習が色濃く残っており、父は家父長制度の中で家長として厳格勤勉質素をモットーとする人間だった。繊細な華宵は、笑顔ひとつ見せない父親を怖がり、叱られると泣きながら母の懷に飛び込んだと回想している。一方、母親は夢見がちのおおらかな性格で、満遍なく子どもたちを愛したという。

母は、よく鼠ねずみさんや雀すずめさんの絵を描きました。

母が好きだったせいかわ、芝居は、よく観ました。そのためか少年の私は現実よりも夢の世界へのあこがれが多く、さまざまな幻想は年々多くなってきました。そして、それを表現するために、どうしても毎日絵を描いていなければならなくなりました。

小さい時のお友達はその女の子ばかりで、おもちゃ箱にもお人形ばかりでした。

友だちと遊ぶよりも、一人でお城を見て楽しんだものです。空に聳えている 天守閣を見ていると、限りなく哀傷の空想が沸いたもので、と追想している。



母、チヨ

父は頭脳明晰で、克己心の強い長男、亀太郎を可愛がり、女性的で絵ばかり描いている華宵を「女々しい」「バカだバカだ」と嫌っていたと云う。極端な男性中心社会の時代では当然の事も知れない。

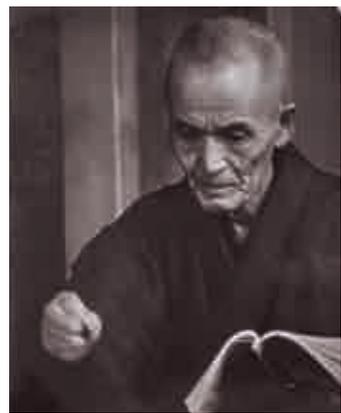
この父と母の愛のバランスの悪さ（エディプスコンプレックス）が、華宵をして正常な男性性を持つ男性への成長を阻んだことは容易に想像できることである。その上優秀な兄と何かにつけて比較されたことは、生涯の心の傷となつて、兄に対するコンプレックスは終生超える事が出来なかつたと思われる。

※1)

※1) アイデンティティ確立のための猶予期間

世に出るまでの苦難時代は、まさにモラトリアムの状態にあつたらしい。十四歳で故郷を離れて京都市立美術工芸学校で日本画を勉強中、父の死にあう。そして亀太郎が若二十歳で家長となり、大勢の家族を養う苦境に立たされた。華宵十六歳のことである。兄の、支え切れない程の苦勞をよそに、華宵は己の画業にのみ明け暮れていた。京都画壇の新しい波に触れ、思想なき日本画に反発し、多くの画家がそつであつたように西洋絵画への憧れを抑え切れず、何度も何度も兄にパリ留学を無心している。可視界の奥にあり、自然を統合する大いなるものとの一体化を表現し、その美しさ

を観るものへ届けるのが画家の使命だと若千十六歳の華宵は兄に訴え続け、留学の支援を懇願している。勿論兄にその力はなく、この想いは遂げられなかつた。



兄、高島亀太郎

その後、幾多の経済的困難にあいながらその想いを独自の形で成就させたのが、後世へと名を残すことになつた「華宵好み」と言われる人物画の類型を描き出したことにある。それは「両性具有」と言われる男女の性を超えた美少年美少女の「美しさ」の表現であつた。天一的で幻想的な「三白眼」の表現は、少年の日の燃える想いにその端を発していると、私には思われる。

※2) 人間の目について、虹彩の部分がやや小さく、白目の部分の面積が多いこと

幾度かの戦争をはさみ、時代は大きく揺れ動いて変わり、華宵の人氣もまた次第に落ちていった。華宵は終生描くことだけに生き、多くの芸術家がそつであるように、終生「少年の心」を持ち続けた。その事は社会人として未成熟な人生を送ることと同義である。華宵は時に兄に反発しながらも生活上の相談や経済的援助を懇う生活が続き、生涯を終えた。

晩年期には、人気頂上の夢を忘れられず、再生を求めてハワイ・ロサンゼルスに渡つたが、夢破れて帰国（その時も兄は帰りの旅費を持って迎えに行っている）。その後も老年の華宵は追い詰められて道は全て閉ざ

された。八十一歳になつていた亀太郎は、七十六歳の弟の将来を思い、明石愛老園へ入園させるために骨を折っている。この辺りの様子は高橋光子著『高島華宵とその兄』、高島麻子著『華宵からの手紙』に詳しく述べられていて心打たれるものがある。

一方、華宵の幼兒的性格に反して亀太郎は自由人かつ合理主義的な人として端正な人生を黙々と歩いた努力の人であつた。この辺りも『高島亀太郎日記』全十三巻に淡々とした文体で記録され、地方史を知る手がかりとして後世に残ることになつた。

七十八年の高島華宵の生涯を簡単に書き進めて来たが、大正文化人の間に蔓延した

「故郷喪失感」の気質とは別に、故郷宇和島との関係には家族を中心に熱いものがあつたようである。東京の病院に入院中であつた最晩年の華宵は、見舞いに訪れた亀太郎が宇和島へ帰ろうとする際に、「法円寺のパパとママによろしく」と言つたという。自分に代わつて墓参してほしいという最後の想いだつたと思われる。



書斎でくつろぐ華宵

高島澄江（たかばたけ・すみえ）プロフィール

- 1936年 四国中央市生まれ
- 1964年 高島重章（高島亀太郎孫）と結婚
- 1990年 「高島華宵大正ロマン館」設立・館長就任
- 2004年 「大正イマジュリィ学会」設立に協力。



高島華宵大正ロマン館
web サイトはコチラ

<https://www.kashomuseum.org/home>

高島華宵が描いた世界

高島華宵大正ロマン館
主任学芸員 高島 麻子

「愛媛県宇和島市出身の大正ロマンの挿
絵画家」——高島華宵は、しばしばこのよう
な枕詞で紹介されます。高島華宵の画家と
しての全盛期は、大正から昭和戦前につけ
ての約20年間、西暦で言えば1910年代
から1930年代となり、その時代の華宵
を直接知っている人は、ほとんどいなくな
りました。それでも宇和島近辺には「華宵
さん」と親しみを込めて呼んでくださる方
が多くいます。しかし、「華宵がどのような
作品を描いたか」「どのような活躍をしたか」
という事については、(その活動内容が多岐
にわたり、作品数も多いことから) ちょっ
と答えに窮する方もいるかも知れません。
あるいは若い世代には、大正時代はすでに
遠い昔のことで、華宵のことはよく知らな
いという方も多い気がします。そこで宇和
島の方に華宵をもっと身近に感じていただ
くために、華宵がどのような活躍をして、
どのような作品を描き、後世にどのような
影響を与えたのかを、ここでは具体的に紹
介していきたいと思えます。



図1:「中將湯」広告絵 (大正14年・朝日新聞掲載)

効果で健康で幸せそうな近代的な女性が描
かれました。それまでの婦人薬の辛い憂鬱
なイメージを払拭し、「中將湯を服用すれ
ば誰でも健康美と幸福を得られるというポ
ジティブなメッセージが華宵の絵を通じて
広がっていききました。

明治44年から昭和10年頃までに華宵が描
いた中將湯広告は、現在わかっているだけ
でも800図柄以上も確認されています。
また、「中將湯の煎じた粕をお風呂に入れ
ると体が温まると評判になり、それを改良
して入浴剤「バスクリン」が昭和5年から
発売されましたが、華宵は、その広告や商
品パッケージも描いています(図2)。

このような広告での活躍を見て、華宵の
作品に興味を持った出版社が講談社でした。

大正3年から約10年間、華宵は講談社の専
属画家のように、講談社が発行するほぼ全
ての雑誌(『講談倶楽部』『少年倶楽部』『面
白倶楽部』『現代』『婦人倶楽部』『少女倶楽
部』『キング』)に表紙絵・口絵・目次絵・
挿絵などを描きました(図3)。

これらの雑誌は全て月刊誌で、特に人気
の『少年倶楽部』や『少女倶楽部』などは
大正14年新年号で約40万部、他の雑誌もそ
れぞれ10万部以上の発行部数でした。同じ
講談社発行の『少年マガジン』の2019
年の発行部数がひと月約10万部ですので、
華宵作品の広がりが方の勢いが想像できます。
また、華宵が挿絵を描いた雑誌は、一般向
大衆雑誌、婦人雑誌、少女雑誌、少年雑誌
と読者層が異なる雑誌でした。つまり華宵
の名前は全国津々浦々、老若男女の多くに
知られるようになり、一躍人気画家となっ
たのです。

講談社以外にも複数の出版社からの雑誌
での執筆や、「華宵便箋」と名付けられたキ
ャラクターグッズの発売、着物や浴衣の図
案意匠、戦後には絵本出版など、華宵の仕
事内容は多岐にわたっていて、その人気ぶ
りが窺えます。

では、なぜ華宵の作品がそれほど好まれ
たのでしょうか？

一つには、絵の綺麗さと華やかさがある
と考えられます。華宵は10代の頃、京都市
立美術工芸学校で日本画を、その後関西美
術院で洋画の基礎を勉強しました。元来の
作画の才能に加えて、絵をきちんと学んだ
ことで、華宵の作品の完成度、たとえばベ
ンによる流れるような線描の挿絵の洗練度
極彩色の表紙絵や口絵のインパクトは、当
時の雑誌の中でも群を抜いた存在感を示し

ています。

もう一つは描かれた内容です。「華宵好
み」という言葉が当時の雑誌にしばしば使
われ、また昭和3年の流行歌「銀座行進曲」
の中でも「♪華宵好みの君もゆく」と歌詞
にうたわれました。「華宵好み」とは、文字
通り華宵が好んだ女性のファッションスタ
イルです。都会的で、モダンで、洋風で、
しかし、やや泥臭さも残したテイストによ
る、洗練された着物や洋服を着こなす女性
の姿は、大正の人々が抱いていた西洋憧憬
をまさに具体的なイメージとして提示し、
人々の共感を得たのでした(図4)。

「アイコンナリーの中の好きな字を全
て差し上げたいような華宵先生の御絵、私
は華宵先生の御絵の賛美者なのです」「美し
い三月号の少画チャン、華宵先生のチャー
ミングな表紙。私スッカリチャームされて
しまいました」(筆者注:「少画」とは雑誌
『少女画報』のこと) このように華宵作品へ
の熱い読者投稿メッセージが、少年少女婦
人雑誌には毎号掲載されていました。

さらに華宵人気の理由として考えられる
のが、作品が放つ「色っぽさ」でしょうか。
『講談倶楽部』や『面白倶楽部』などの大衆
向け雑誌の挿絵には、時に半裸の女性が描
かれており、当時としては大胆な描写が読
者の目を惹きつけたと言えますが、裸体描
写のエロスだけではなく、表情(特に三白
眼のまなざし)や身体の動き(手足の描写
など、見る側がドキッとするような色っぽ
さをまとっているのが華宵作品の大きな特
徴です(図5)。

少年少女の読者たちは、それを「エロテ
ィック」と認識していた訳ではないでしょ
うが、「子ども心にも何となく罪悪感を抱

きながら見ていた」という当時の読者の話を聞いたことがあります。つまり華宵作品に漂うエロスの微香が大正人の幻想とシンクロして、ある種の中毒的な魅力を放っていたのではないかと思うのです。

1940年代になって戦時色が濃くなる、華宵作品は時代の流れに沿わなくなり、戦後にも「大正ロマン」の感性は戻ってくることはありませんでした。しかし、華宵作品が後世の人々にとって単なる過去の遺物となったかという点、そうではないようです。

たとえば、1960年代のアングラカルチャーの中で、寺山修司や唐十郎は華宵作品を書籍の装丁や舞台美術に使っています(図6)。美輪明宏は、自身が華宵の美少年の妖艶さを受け継ぐ人物であると三島由紀夫に指摘されたと言っています。竹宮恵子ら初期の少女漫画家たちの作品には華宵の影響が色濃く反映されており、異色の漫画家丸尾末広や古屋兎丸などのタッチは華宵のそれと重なります。一昔前ですが、「リゲイン」のCMで時任三郎が扮した牛若丸三郎太のイメージソースは、華宵の《鞍馬の秋》(図7)であるとディレクターが書き残しています。

こうしたアーティストたちが華宵作品から何を受け取り、何を受け継いで、それぞれの作品に表現しているのか、とても興味があるところですが、つまりそれは、華宵の作品世界が単に大正時代の遺産ではなく、現代の私たちへもインスピレーションを与え得るエネルギーを発し続けている証左と言えます。華宵の作品世界は、まだまだ広がっていくのです。



図4：《ダンス》(華宵便箋表紙絵・昭和4年頃)



図3：《四海に輝く》
(『少年倶楽部』表紙絵・大正12年1月号)



図2：「バスクリン」広告絵(昭和5年頃)



図7：《鞍馬の秋》
(『日本少年』口絵・大正15年10月号)



図6：『身毒丸』
(寺山修司著・1980年初版・華宵作品
《海の幻想》を使ったもの)



図5：《青葉かげ》
(『少女画報』表紙絵・大正14年6月号)



高島麻子(たかばたけ・あさこ)プロフィール

四国中央市(旧川之江市)出身。成城大学文芸学部芸術学科卒業。
1990年 高島華宵大正ロマン館の設立準備から学芸員として関わり、現在に至る。
「大正イマジユリィ学会」事務局・常任委員。松山大学・愛媛大学非常勤講師。
単著『華宵からの手紙』。

「華宵の部屋 2021」That' 大正モダン ～高島華宵の素顔～

- 会期 / 令和4年2月20日(日)まで
- 会場 / 宇和島市立歴史資料館
- 住所 / 宇和島市住吉町2丁目4-36
- お問合せ / ☎0895-23-2400



予土線特集やりよります。



新年の朝、寒気が降りてうっすら雪化粧 JR予土線伊予宮野下～二名駅間 撮影/坪内政美



山下 文子 やました あやこ
宇和島市出身、鬼北町育ち。
予土線沿線は、県をまたぐも「ザ・
生活圈」。鉄道を始め、乗り物は何
でも大好き。座右の銘は「その角
を曲がれば、旅」
(※永六輔氏のうけうり)。
「四万十の鉄道 予土線」のホーム
ページでコラムを担当。

協力：高知県予土線利用促進対策協議会

<http://yodosen-green.com/>

<https://twitter.com/yodosen>

<https://www.facebook.com/yodosen/>



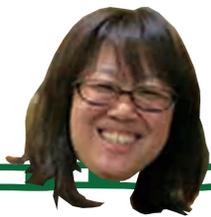
坪内 政美 つぼうち まさみ
スーツ姿で撮影するという奇妙なこ
だわりをもつ鉄道カメラマン・ロケ
コーディネータ。各種鉄道雑誌など
を執筆する傍ら、テレビ・ラジオに
も多数出演。町おこし列車「どつぼ
列車」を主宰し、駅スタンプを製作
・寄贈する活動を行っている。高知
県予土線利用促進対策協議会アドバ
イザー。

ブログ：「坪内政美公式ブログII」

【主な活動・執筆など】

鉄道全路線シリーズ(朝日新聞出版)旅と鉄道・鉄道キング(山と溪谷社)サライ・ビーバル・本の窓(小学館)琴電殺人事件(西村京太郎・新潮社) JTB 時刻表・ノジュール・青春 18 きっぷの旅・観光列車でいこう・るるぶシリーズ 主に四国関連・瀬戸内海離島 UTB パフリッティング) 四国旅マガジン GajA(SPC 出版)ネコ駅長ばす PHOTO BOOK(エイ出版)鉄道珍百景(天夢人)ほか、ラジオまどんな「どつぼの鉄道見聞録」(NHK 松山放送局・17:05～月一度程度出演)多数。

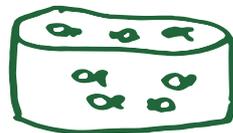
宇和島から窪川
予土線



鉄女 やましたあやこの
嗚呼、予土線らぶそでいー

「津村さんのきんぎょ」

http://yodosen-green.com/ ※その他のエピソードもHP掲載中



予土線の一押しスポットに水族館「おさかな館」がある。松丸駅から歩いて5分。四万十川流域に生息する魚や国の天然記念物オオサンショウウオ、南米のフンボルトペンギンなど、多種多様な生き物もいるし、コツメカワウソに餌やりもできちゃうし、ニホンウナギにも触れちゃうし、体長1メートルを超える大型魚の水槽はまるで水の中のトンネルみたいだし、なんてったって予土線に乗って行けちゃうという、鉄道と生き物好きにはオススメの水族館なのだ。

いわずもがな、生き物大好きな私にとって、おさかな館には公私ともにお世話になっている。取材に、プライベートにとかれこれ10年近く足繁く通っている場所だ。2018年2月、当時、おさかな館の館長だった津村英志さんが亡くなった。津村さんは、オープン当時から専門家として関わっていて、亡くなるその日まで館長を務めていた。来館するたびに津村さんとあらゆる生き物の話で盛り上がった。中でも、話題が金魚になると津村さんは、めがねの奥の瞳をキラキラさせながら「ちょっとみせてやる！」と言

つては、バックヤードに行き、らんちゅうの赤ちゃんなど、かわいらしい金魚たちをこっそり見せてくれていた。そう、無類の金魚好きだったのだ。この金魚

ちを通じて、わたしは何度も津村さんの生き様を感じている。

2011年に起きた東日本大震災で、福島県いわき市の水族館「アクアマリンふくしま」が被災した。館内の水槽が割れ、多くの生き物を失ってしまったことを知った津村さんは、育てていた金魚を復興のにぎわいにしたいとアクアマリンふくしまへ寄贈したのだ。遠く離れた被災地へ「ひとときの癒やし、希望の光の一助になってほしい」と津村さんは思いを寄せていた。その翌年、復興したアクアマリンふくしまからは、金色に輝く「津軽錦」や優美な尾びれを持つ「庄内金魚」など東北地方で生まれた貴重な金魚たちがお礼として届けられた。津村さんは、金魚を通じて全国各地の水族館や動物園とのつながりを常々大切にしていた。

そのアクアマリンふくしまとの友情は、今も続いている。それが「ナメダンゴ」である。ナメダンゴは北の冷たい海にか生息しないカサゴの仲間。直径5センチほどの丸っこい体で小さな小さなひれを動かしながら泳ぐ姿がなんともかわいらしい。金魚ではないが、津村さん



ナメダンゴ (撮影/坪内政美)

を動かしながら泳ぐ姿がなんともかわいらしい。金魚ではないが、津村さん

のお気に入りの魚だ。それを知ったアクアマリンふくしまから2度にわたりナメダンゴをおさかな館に持ってきてくれた。一度目は津村さんが病氣と闘っていた頃、そして二度目は西日本豪雨のあとだ。そのどちらも「元気づけたい」という温かい思いがギュッと詰まっていた。



宮島水族館の「津村さんの金魚」コーナー (撮影/坪内政美)

ひらひら尾びれの「大阪らんちゅう」やぶくぶく頭の「四国オランダ」など優美に泳ぐ金魚たちがそこにいた。思いがけない出会いに涙が出た。

宮島水族館は、津村さんが大切に育てていた金魚を引き取り、小さな命をしっかりと繋いでいたのだ。金魚たちは、すくすくと成長して立派に泳いでいた。

その金魚たちの姿に津村さんの残した愛情を感じずにはいられなかった。展示場では「きれいだね」「かわいいね」と訪れた人たちが次々と金魚に心を奪われていく。そして、水槽横のパネルに書かれた紹介文を読み上げながら、金魚を育てた津村さんに心を寄せていた。

この光景こそ津村さんの生きてきた証。金魚を眺めている人たちを見ながら、津村さんも天国でほほ笑んでいるといいなと思った。

※現在、新型コロナウイルスの感染防止の観点から「おさかな館」のふれあい体験はお休みな中です。



2019年。わたしは広島県の宮島にある厳島神社へ初詣に出かけた。お参りの後、ふと神社のそばにある宮島水族館を訪れた。館内を巡りながら新春特別展「きんぎょ会」と題された展示室に入ると、その一角に『津村さんのきんぎょ』と名付けられたコーナーがあった。

その水槽に泳いでいたのは、生前、津村さんが大切に育てていた金魚たちだ。



うつ い かわ
打井川駅 土手にデーンと立つ駅

駅データー
 ■所在地 高知県高岡郡四万十町打井川 ■開業日 1974(昭和49)年3月1日 ■旅客ホーム数…1面1線・無人駅



海洋堂の展示に合わせて予土線を運行している「海洋堂ウルトラトレイン号」



窪川寄りに植えられた桜並木をゆっくりと通過する列車の姿も見られる



土手にデーンと立つ打井川駅

長い階段を上ってアプローチする土手の上にある。見上げるとダイナミックな駅舎だが、予土線によくある簡素な無人駅。窪川寄りには桜並木があり、駅から桜のトンネルを通過する列車の様子が見られる。

ここから5キロほど先にある大手フィギュアメーカー「海洋堂」の「ホビー館四万十」や「かつぱ館」があることから、全国からフィギュアファンが訪れる駅でもある。どちらも平日と土曜は送迎のサービスもある。駅ので、駅のホームにある掲示板をチェック！（日曜は路線バスが運行している）

予土線三駅語り
7 打井川〜家地川〜若井

海洋堂ホビー館四万十 高知県高岡郡四万十町打井川 1458-1 ☎0880-29-3355
 ■営業時間：3～10月（10:00～18:00）11～2月（10:00～17:00）■火曜定休 ■入館料：子ども400円 高校生以上800円

大阪市に拠点を置く大手フィギュアメーカー海洋堂が手がけた博物館級の展示が並ぶ。辺りな所でありながら、一流の作家たちが生み出したフィギュアの数々は年齢を問わず楽しめる。常設展示のほか、企画展示には時代を飾るアニメや特撮を特集しており、現在は海洋堂が1980年から手がけているウルトラマンシリーズの展示会が行われている（2022年5月まで）。少し離れたところには、世界中のかつぱの造形作品を展示している「かつぱ館」と合わせて訪れるのもおすすめ。




 文：山下 文字


 写真：坪内 政美



いえ ぢ がわ

家地川駅 銀杏に桜に季節を感じる駅

駅データ

■所在地 高知県高岡郡四万十町家地川 ■開業日 1974(昭和49)年3月1日 ■旅客ホーム数…1面1線・無人駅



若井から家地川間にある川奥信号所。一瞬だが通過時に四国で唯一のループ線も見ることができる。



家地川の滑(なめ)。

22段の階段とスロープが設けられた小さな駅。秋になると、立派な銀杏の黄色が駅を彩り、窪川方面に進むと、春には家地川公園の桜が車窓一面に広がる季節感をたっぷり味わえる。
川に沿って線路があることから駅を出ると、景色は壮大。ホームの宇和島方面にはすぐトンネルがあり、列車がどーんと出てくる様子も眺められる。

家地川公園 高知県高岡郡四万十町家地川51

桜の名所として知られる公園で、およそ300本のソメイヨシノが水面に映え、幻想的な雰囲気を感じ出す。遊歩道も整備されており、ゆっくりした時間を楽しめる。公園のそばには、四国電力の「佐賀取水堰」があるため、四万十川の水が轟々と音を立てて流れる様子も見られる。

わか い

若井駅 ここが予土線の分岐駅

駅データ

■所在地 高知県高岡郡四万十町若井 ■開業日 1963(昭和38)年12月18日 ■旅客ホーム数…1面1線・無人駅



ホームには、屋根付きの待合所がちょこんとあるのみ。



駅看板は木造の「土佐くろしお鉄道」のオリジナル。『予土線接続駅』と書かれている。

元国鉄中村線から、昭和62年にJR四国、そして昭和63年に移管された土佐くろしお鉄道中村線へと変遷を遂げている駅。
現在は、JR予土線の接続駅としての役割も担っていることからここから窪川駅までの一区間は土佐くろしお鉄道に乗り入れている。

若井沈下橋

国道381号線から見える長さ85メートルの沈下橋。100メートルほど上流に若井大橋という抜水橋ができていますので道路としての役割は終えている。堤の向こうに走る列車とともに写真に収めることができる名撮影地の一つとして、予土線ファンにも土佐くろしお鉄道ファンにもおすすめです。



おしらせ

当コーナーの写真を撮影していただいています鉄道カメラマンで鉄道雑誌ライターなどマルチに活躍される坪内政美さんの『鉄道珍百景』第2弾が発刊されました。

「もっと鉄道珍百景」 坪内政美 / 著 山と溪谷社 1980円(税込)





内港の厚生車 【昭和29(1954)年】

あの頃が宇和島の最も美しい古き良き時代だったのかも知れない。棧橋前には、酒やおでんを提供する「一杯飲み屋」やうどんの屋台に混じって、島嶼部から市内へやって来るお客目当てに厚生車が何台かたむろしていた。当時、港に着いた人た

ちは、厚生車の客の足元のスペースに小荷物を置き自分も座席に乗って運ちゃんの漕ぐ厚生車と一緒に国鉄(現JR)宇和島駅へと急いでいた。駅には「手小荷物受付窓口」があった。市外にいる身内や親戚などに大切な小荷物を送っていたが、宅急便が発達した現在では考えられない大変な苦勞をともなった。

「厚生車」とは、人力車と自転車とを合体させた幌付きの人力三輪タクシーのことで、一部の人は更生車ともいったが、正式名称はいわゆる「輪タク」。ほかに、国策車、国策タクシーなどとも呼ばれた。ガソリンの消費規制を受けた昭和14(1939)年頃から一般的な乗り物としてバスやタクシーの代用として全国的に普及して、宇和島では昭和15(1940)年10月に走り出したそうである。

当時の新聞を読むと、ガソリン節約時代、に対応するため、袋町商店街の「山本ラジオ店」が「厚生車部」を開設したり、船大工町(現恵美須町)の「和田自転車店」が「国策タクシー」の広告を出したりしている。※1

特に、宇和島で厚生車がもっとも大活躍したのは、皮肉にも悪夢のような太平洋戦争末期であった。昭和20(1945)年5月10日から8月8日まで9回にわたる空襲により、三百名近い人命が失なわれ被災世帯は六千強、市街地の3分の2が焦土と化した宇和島の街を、多くの厚生車がプカプカと警報を鳴らしながら町中を疾走していたそうだ。生活物

本誌の『夏号』では「渡し船」のことを紹介したが、今回は戦後のある時代まで「渡し船」とともに内港のもう一つの風物詩であった、庶民の足として奮闘した「厚生車」について回想する。

昭和30年代前半まで内港の「沖の渡し」の柴町側乗り場から海岸沿いを歩いて右折すると、島嶼部などへの発着港であった盛運社(盛運汽船株式会社本社)があった。同社待合所から入江商店、石橋商店(現・ホテルイシバシ)、白石商店と連なっていた通りがあり、その前は海に面して

3本の浮き棧橋があり、天長丸など盛運社の船が入出港したところということになる。

九州と結ぶ宇和島港駅(平成12(2000)年11月休止)に対して盛運社は近海航路の内港駅であり、30年代から40年代は海水浴シーズンの夏場だけ、ここから高島や赤松遊園地などの海水浴場へ向かう船がフル運航して子どもや家族連れで活況を呈していた。また、夏の和霊大祭には打ち上げ花火を背景に県内外からの大漁旗をはためかせた漁船や機帆船が内港の隅々まで海を埋め尽くしたが、

資や荷物の運搬、人命救助や消火活動などみんなが頼りにしたのが厚生車だったといわれる。

丸之内5丁目付近の内港埋立工事が始まって渡し船が消えたのに続いて、埋め立て完成後の昭和35(1960)年頃には厚生車の姿もあまり見かけなくなりました。上記の写真でも、運ちゃんたちは雑誌何か読んでいたり、ずいぶん暇そうなのが感じではある。昭和25(1950)年頃からは燃料事情も緩和されて、木炭自動車や厚生車の需要は徐々に低下していったが、それでも昭和42(1967)年に2台の「厚生車健在」と報じている。※2

昭和32(1957)年頃、私が町中で見かけた厚生車は、客を乗せる需要が減ったからかどうかわからないが、客は乗せずに中央劇場やスバル座で公開される映画のポスターを幌の後ろに貼って宣伝車として走っていたように記憶している。堀端や追手通りには最後の柳の古木が残っており、まだ厚生車の停車場があったからだろうか。

当時の内港(ホテルイシバシ前)も国道バイパス工事に連動して、ずっと沖合まで埋め立てられ、平成9(1997)年4月には盛運社の新内港駅が完成して、海は完全に町から遠ざかり今は昔の面影はまったくくない。

※1 南豫時事新聞 昭和16(1941)年3月1日/同10月16日
※2 日刊新愛媛 昭和42年12月20日

参考資料:『宇和島自動車百年史』宇和島自動車株式会社編2019.3
『ふるさとの写真集 明治・大正・昭和 宇和島』国書刊行会編1983.7
資料提供:橋本増洋



田部 司 たなべ つかさ

プロフィール 昭和25(1950)年生まれ 宇和島市在住 日本眼鏡技術者協会会員
シネマニア宇和島・タナベ昭和館主宰

写真・文/田部 司

「くっくく」布絵本づくりボランティアグループ





宇和島市立中央図書館の「ねころびコーナー」でメンバー全員で集合写真

宇和島市立中央図書館（パファイオうわじま内）で布絵本などの制作をしている「つ・く・し」のメンバーは現在8名。平成17（2005）年5月に宇和島市広報の募集に、12名が応募し、中央公民館で活動をスタートして17年目になる。

第一号作品は、民話「きこえぬサイレン」で、この作品の原画は、声優、歌手として活躍中の宇和島出身の中川奈美さんが小学校4年生の時に描いた作品だ。

グループ名の「つ・く・し」は、「つくろひ喜び」、「くふう」花、「し」あわせを子どもたちに「の願いと、つくしのように、すくすくと成長してください」との気持ちが込められている。

活動は主に幼児、小学生向けの布の紙芝居、布絵本、エプロンシアター（次項参照）、お話し遊びグッズなどをフェルトや綿布などを使い、毎週水曜日の午後1時半から4時まで中央図書館の一室で制作している。

また、図書館行事の読書マラソンやクリスマス会などの景品作り、館内の季節ごとの飾り物なども図書館職員の方々と相談しながら制作している。

「つ・く・し」の作品は、書籍と同様に貸出しも可能で、図書館3階の「ねころびコーナー」等で手に触れることができる他、小学校や介護施設など様々な場所で活用されている。

**興味・関心のある方
私たちと一緒に
やってみませんか。
メンバー募集中！**

メンバーに話を聞くと、自分たちがつくる作品を通じて、布の温かみや優しさを感じながら題材の物語などに興味・関心を持ってもらえることが何よりの喜びであり、子どもたちの笑顔を想像しつつ、メンバー同士おしゃべりしながら手を動かすことが本当に楽しいという。

しかし、一方でメンバーの高齢化もあり、今後、若い世代にどのように引継いでいくのが課題だ。また、本当に必要な作品は何かを常に考えているという。

現在、宇和島の民話「観音堂の伝説」を今春の完成を目指し制作に励んでおられるので、楽しみにしておいて下さいとのことだ。



宇和島市立和霊小学校では、定期的に布の絵本を使った読み聞かせが行われている。



宇和島市立中央図書館の3階にある「ねころびコーナー」を、いつも利用するという、市内在住の井上愛さん、凛香ちゃん親子。



エプロンシアター

胸当て式エプロンを舞台としてポケットから人形などを次々取り出し、話を進めます。
写真は、イソップ物語の「北風と太陽」のエプロンシアターです。



おしゃべりに花を咲かせながら、楽しく、和気あいあいと行われる制作風景





残そう！ 津島の「六宝」

津島発祥とされる「六宝」は宇和島や愛南町でも食べられていますが、現在では「宇和島鯛めし」に席巻され、津島町以外では、ほとんど食べられなくなってきました。そこで、郷土のソウルフード「六宝」を活用し、町おこしの一助にしたいと昨年1月に「津島六宝保存協会」を設立しました。

同会では、県内外への周知を図るために「六宝ポスター」、「マップ」を制作し、昨年10月には継承活動として、津島中学、宇和島東高津島分校で六宝料理教室を行いました。料理教室は、ご要望があれば県内の学校等に出向いて行きたいと思っています。

「津島町の六宝（六方）」は、漁師飯から発展し、明治頃には、すでにあったと言われ、徐々にタレに漬け込む、現在のスタイルになつていったと思われます。同じような料理は、明浜町の「日向飯」、三崎町の「りゅうきゅう」そして大分県にもあります。



マグロ（写真左）とイサギの六宝（写真右）



「料理田むら」の田村寿一さん

六宝に使用する魚は、鯛はもちろんイサギ、ヒラメ、アジ、マグロなど旬の魚や好みの魚を使います。宇和島の「鯛めし」は、「丸水」という料理屋が始めたと言われていますが、昭和50年代以前に郷土料理として「鯛めし」が紹介された資料がないことから、「鯛めし」の元祖は「六宝」だと考えます。

「六宝」の謂れは、タレに用いられる酒、みりん、醤油、ゴマ、砂糖、生卵が、かつて貴重品だったことから「六宝（六つの宝）」と呼ばれています。津島町の大畑旅館では、「六方」を踏む（歌舞伎の所作）ほど美味しいものと伝わっているそうです。

六宝の食べ方

漁師	お店		お客様	
1 旬の地魚を地元 の漁師が獲る	2 新鮮な状態で仕 入れた魚を開く	3 魚を各店特製の タレに漬け込む	4 味付けされた魚を ご飯にのせる	5 薬味をのせ完成

六宝保存協会加盟店

店名	住所	営業時間	電話番号
下北プリン	宇和島市津島町高田甲 587	11～23時	☎0895-32-4119
ぐっさん家	宇和島市津島町高田甲 2743-1	11～14時 18～23時	☎0895-32-1038
料理田むら	宇和島市津島町高田甲 280-2	11～14時 17～20時	☎0895-32-2023
山口鮮魚店	宇和島市津島町近家乙 147-21	8～17時	☎0895-32-2207
大畑旅館	宇和島市津島町岩松 753	11～14時 17～21時	☎0895-32-2121
鶴亀	宇和島市津島町岩松 730	11時30分～14時	☎0895-32-2054
川口	宇和島市津島町岩渕甲 1548-1	11～14時	☎0895-32-2530
西ドライブイン	宇和島市津島町針木 241-3	10～17時	☎0895-35-0322



津島の六宝祭り 六宝食べに来てやんさいや！

- 六宝や郷土料理の販売
- 六宝無料配布（中学生以下）
- 六宝料理教室
- 第1回「わんこ六宝競技会」など

令和4年
1月16日（日）
9:30～14:00
会場
津島プレーランド

宇和島市の郷土芸能（宇和島市） 八ツ鹿踊り

大本敬久

愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員



撮影／北濱一男 宇和津彦神社の本殿前にて

慶長一九年（一六一四）に大坂冬の陣の戦功により伊達秀宗が宇和島領（藩）を治めることになり、伊達家の治政が明治維新まで続いた。秀宗は東北・仙台領（現在の宮城県及び岩手県南部）を治めていた伊達政宗の長男にあたる。秀宗の宇和島入部にあたっては、家臣とその家族、商人、職人など約一六〇〇人が東北地方から移住したといわれ、現在でも自らの先祖・ルーツは東北にあると認識している市民も多い。

宇和島の城下町が形成される過程で、総鎮守に位置づけられたのが一宮大明神（現在の宇和津彦神社）であり、慶安二年（一六四九）から町人町（本町、裏町（裡町）など）の氏子が各種の練り物を出し、その祭礼は現在まで続いている。

宇和島伊達家の領内の村浦では、この祭礼にならって氏神の祭りを賑やかにして、分藩した吉田領の総鎮守立間八幡神社の祭礼にも影響を与え、吉田領内にも浸透していく。現在、南予地方に広く見られる牛鬼や鹿踊り、四ツ太鼓、獅子舞などの祭礼文化はここから始まり、伝播していったといえる。

八ツ鹿踊りは、この祭礼の大きな特徴の一つである。鹿踊りは一人立ちで張り子製の鹿頭をかぶり、胸に太鼓を抱え、横縞模様の幕で半身を覆って踊る。鹿踊

りは、全国的に見ると東北地方をはじめとする東日本に広く分布するが、西日本では珍しく、愛媛県南予地方周辺にのみ見られ、現在、約九〇ヶ所で継承されている。

南予の鹿踊りは、江戸時代初期に宇和島藩主伊達秀宗が宇和島に入部したのを機に領民が郷里を懐かしんで仙台から伝えられたもので、慶安二年の一宮（宇和津彦神社）祭礼に初めて登場したと推測され、約三八〇年の歴史を有する。仙台周辺の鹿踊りと歌詞やリズム、踊り方など共通する点が多く見られ、「回れ回れ水車、遅く回って、堰に止まるな、堰に止まるな」は南予のどの鹿踊りでも見られる歌詞である。

現在、宇和津彦神社祭礼では旧裏町一丁目が主体となり保存会を結成し、保存継承に努めている。小学生八名が踊り、可憐とも、繊細優美とも表現され、愛媛県をはじめ西日本を代表する郷土芸能といえるだろう。



おおもと たかひさ
1971年、八幡浜市生まれ
専門は民俗学・日本文化論
著書に『民俗の知恵』
（創風社出版）等

株式会社 谷本総合保険事務所 代表取締役 谷本 竜太

先代の言葉を胸に保険屋2代目邁進中！

保険代理店「株式会社谷本総合保険事務所」2代目の谷本竜太です。弊社は父の克明が2010年に創業し、今年で13年目を迎えました。皆様にご愛顧いただきありがとうございます。

一筋40年。顔が広く、世話好きで誰からも慕われる人でしたが、2017年1月に膀胱がんのため、62歳で他界しました。そして、同年2月に私が跡を継ぎ、今年で丸5年が経ちます。

私自身は、吉田高校を卒業後、徳島の大学に進学し、大学卒業後は同県で車販売の営業をしていました。ゆくゆくは、地元に戻って家業を手伝うつもりでしたが「当分、先だろっな……」とぼんやりと考えている中で父の死は、本当に突然の出来事でした。

「真面目にやれよ」
亡くなる前、仕事について父から言われた言葉です。病気の宣告から他界するまで一ヶ月もなく、仕事の話は、ほとんどできませんでした。この一言が私の軸になっています。

徳島から宇和島に戻り、金融・保険の仕事に携わる中で「正しいお金



の知識（増やし方や使い方）を広めて宇和島を気づけたい」と強く思うようになりました。

最近、宇和島を離れて生活をする人が増えています。利便性や収入面など離れる理由は様々だと思いますが、正しいお金の知識を持つことで、豊かに楽しく宇和島で生活できることを伝えていきたいと思っています。

大好きな地元がいつでもも活気ある場所であって欲しい。そのために私自身ができることを日々模索していく中で始めたのがYou Tube『谷本竜太のお金の教室』です。わかりやすくお伝えできるように頑張って配信して



いますので、良ければ観てみてください。

そして、毎月1回、「身近に感じてもらえる保険屋」を目指し、『たにやん通信（写真）』というお金に関する情報や普段の出来事などを載せたお便りをお客様に向けて発行しています。

「読んでみたい」という方は、お気軽にご一報ください。

父から引き継いだ会社を守りながら、宇和島の皆さんに貢献できるように日々邁進しています。保険のご相談などありましたら、ぜひ一度ご連絡いただけたら嬉しいです。



株式会社 谷本総合保険事務所 宇和島市新町 2-9-1 ☎.0895-22-4568



谷本総合保険事務所



tanimoto-hoken.com

うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。

新型コロナウイルスワクチン追加接種と治療薬

厚生労働省は新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種（ブースター接種）を開始することを発表しました。対象は国内での初回接種（1回目・2回目接種）を完了し、2回目接種を完了した日から、原則8か月以上経過した18歳以上の方です。高齢者への接種より令和4年1月から、開始される予定です。

日本はワクチン接種の開始は遅かったものの、令和3年11月時点で日本の接種率は77%（宇和島85%）とトップレベルとなり、世界に先駆けて終息する兆しを見せています。ワクチンには発症を予防する高い効果があり、また、感染や重症化を予防する効果も確認されています。しかし、時間経過とともに、ワクチンの有効性や免疫原性は徐々に低下していきます。ファイザー社ワクチンでの感染予防効果は、半年で約50%、発症予防効果は80%に下がったとの報告があります。一方で重症化予防効果は、時間が経っても比較的高く保たれているという報告もあります。ワクチンの効果が下がってきていても追加接種を行うことにより、感染

多発症、重症化予防効果を高める効果が得られます。

特に接種をしてもらいたいのは、高齢者、基礎疾患を有する方などの「重症化リスクが高い方」、及びその関係者・介助者などの「重症化リスクが高い方」との接触が多い方、そして医療従事者などの「職業上の理由などによりウイルス曝露リスクが高い方」です。妊娠中及び妊娠を計画中の方、授乳中の方、新型コロナウイルスに感染したことがある方にとってもワクチン接種はメリットがあるため、接種が推奨されています。

3回目の副反応ですが、ファイザー社ワクチンの場合、けん怠感が64%、筋肉痛が39%、38度以上の発熱が9%でした。これは2回目の副反応の報告とほとんど変わりありません。

一方で経口治療薬の開発も進んでいます。パクスロビドという薬は新型コロナウイルス感染者の重症化リスクを9割減少したと報告されており、アメリカで緊急使用許可が申請されました。やがて日本でも使用できるものと思われます。治療に対しては大いに期待できますが、ワクチンに取って代わるものではありません。

開発責任者も「ワクチンを接種しないとという選択は悲劇的な過ちだ。治療薬は不幸にして病気になるってしまった人のためにある。治療薬の存在を、自分の身を守らず、自身と家族、そして社会を危険にさらす理由にしてはならない。」と述べています。

日本で感染が減ってきた理由はワクチン接種が進んだことだけではなく、マスクや手洗い、ソーシャルディスタンスを遵守した国民性にもあると思います。しかし、世界ではまだ感染拡大は続いており、新しい変異株の報告もあります。引き続き感染予防とワクチン接種へのご協力をお願いします。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

お気楽 俳句

コロナ禍の二度目の今夏、俳句甲子園全国大会にエントリーしたのは116チーム。そのなかから投句審査による上位4チームが松山で対戦し、開成高校Bチームが優勝。その模様はオンライン中継され、今もYouTube（下記）で楽しむことができます。
来年こそ松山での全員参加が叶いますように。
（小野更紗）

☆第24回「俳句甲子園」

個人最優秀賞

ウミユリの化石洗ひぬ山清水

岡山・岡山朝日高等学校 辻颯太郎

個人優秀賞

兼題「清水」夏の季語

ポケットに帰りの切符山清水

京都・洛南高等学校 山本泰己

真清水の湧き出づるごと反戦詩

※せんせん

愛媛・今治西高等学校校伯方分校A 馬越大知

潺潺と清水に浸る鹿の骨

東京・海城高等学校B 関友之介

※浅い水がよどみなく流れるさま

兼題「茄子」夏の季語

焼茄子のプシューと裂けて消えし村

愛媛・今治西高等学校校伯方分校A 田頭京花

マツハにて地球に接近中の茄子

福島・磐城高等学校 藺邊暖人

茄子剪^きつて掌に太陽の熱さかな

長野・清泉女学院高等学校 小林 蓮

星空を歩いて茄子の無尽蔵

東京・開成高等学校A 谷田部 慶

兼題「空蟬」夏の季語

聖火ゆらゆら空蟬の四肢しかと

愛媛・松山東高等学校 伊藤恵一

空蟬や雲へと続く木のなくて

東京・開成高等学校B 鈴木宏明

空蟬や胎児模型の顔のしわ

岩手・水沢高等学校 菅原羽美

寄り添へり蟬のあにおとつとの殻

東京・海城高等学校A 東風谷順正

蝉は雪を見たくて殻に目をのこす

東京・立教池袋高等学校B 三宅爽太

兼題「片蔭」夏の季語

点字ブロック片蔭を抜け海へ

愛媛・松山東高等学校 宇都宮駿介



*ひよーて（寒くて）
*押し込み（押し入れ）

絵：律川エレキ
1966年宇和島市生まれ
奈良市在住
2000年頃より俳句新聞
や俳句マガジン等に挿
絵を描く。映像作家

●俳句甲子園 <https://haikukoushien.com/> ●「第24回俳句甲子園全国大会」編集版 <https://www.youtube.com/watch?v=ttBwXNMCK6c>

おすすめの本

100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集

福井県立図書館 著 講談社 ¥1,200（税別）

図書館利用者さんの覚え違いに、おもわず「あるある！」と笑ってしまい、司書さんの検索能力に脱帽しました。

「独身男性が若い女の子を妻にしようとして色々失敗した話なんだけど…」という問い合わせに「谷崎潤一郎の『痴人の愛』でしょうか」、「『八月の蟬』ありますか」には『『八日目の蟬』ですね』と答えるんです。すごいでしょ!!

書店でも日々同じような経験があり、お客様からお求めの本を探し出した時は嬉しくて自慢したくなります。まずは、クイズ感覚でお気軽にお楽しみ下さい。



協力：岩崎書店 宇和島市錦町 4-16 TEL. 0895-22-0528

学ぶって
おもしろい!

START!!

新たな発想を生み出せる人材づくり

「キャンバス」始動!



これからの時代に必要な学びの環境をつくるために、「一般社団法人キャンバス（以下…キャンバス）」を設立しました。現在、世界規模でAIやロボットなどの科学技術が急速に進化し続け、5年、10年後の社会を予測することは困難です。そんな予測できない未来を生き抜くために必要な力を育てる「STEM教育」が世界中で注目されています。

ノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎さんが、好奇心というキーワードから「新しいことを知り、好きなことを深めることは、おもしろい」と語っておられるように「STEM教育」では、科学、技術、工学、アート、数学を総合的に学び、柔らかに創造性豊かな力を身に付けることが期待されています。

自らの才能を発掘するためには、好きなことを見付けるきっかけや、深めることができる学びの場は不可欠です。当法人では、「学ぶっておもしろい!」をテーマに、誰もが学びたいことを学べる環境をつくっていききたいと思えます。

南予では人口減少が進み、都会と地方の格差が一層拡大しています。様々な格差を解消し、住み続けることができる地域づくりには、「新たな発想を生み出せる人材」が必要です。

キャンバスでは、人材育成と文化芸術の振興によって、

誰もが心豊かに生活できるふるさとづくりを目指します。



一般社団法人キャンバス
代表理事 清家 由佳



■アトリエ堀端絵画教室(べにばら画廊) <https://benibara.webhop.info/>
 宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント: 吉田 淳治



作品名:『シャコ貝とガラス玉』(鉛筆)
 作者:水谷 衣織 (大人クラス)

鉛筆の線がグンと力強さを増し、モノの存在をしっかりと捉えるようになった水谷さん。繊細に黙々と色を重ねてゆく水彩画。さらには大きい油彩画にも果敢に挑む井上さん。まだ漠とするも、この先、美術の世界に足を踏み入れようとする高校3年生のふたり。待ち受ける未知の場所。自分にしか見えない何かを掴み取ることができればいいなあ。



作品名:『犬とクレヨン』(水彩)
 作者:井上 英梨華 (大人クラス)



作品名:『空へ』(アクリル)
 作者:小島 ひなた (子供クラス)

シーンと美しい色に染まる広い空。リズムカルに浮かぶふんわり白い雲。空にかかるハシゴは未来への希望? ひなたちゃんはどこに登ってゆくの?



■アトリエぱれっと <https://art-palette.wixsite.com/mysite>
 宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-7784-4703 yuka@art-palette.com コメント: 清家由佳



作品名:『おしゃれなニワトリ』(水彩)
 作者:金谷詩乃 (小5)

色とりどりのおしゃれなニワトリが描けましたね。詩乃ちゃんは、いつも自分の世界観を大切にしています。これからも楽しみにしています。



作品名:『愛犬』(水彩)
 作者:山本ことみ

毛の艶やかさがとてもよく表現できていて、犬の表情が愛らしい、とても癒される作品です。いつも謙虚な姿勢で制作されている山本さんですが、作品から芯の強さを感じます。



作品名:『少年』(油絵)
 作者:三好啓司

色味の少ない中にセンスが光っています。少年の腰を反った姿勢と、雰囲気の良い良さがああります。三好さんが描く作品は、どれも魅力的です。これからも頑張ってください。



うわしん WEB完結ローン 取扱いスタート!



うわしん



<https://www.shinkin.co.jp/uwajima/>



WEB完結OK

カーライフプラン

通常金利 年3.4% ▶ 特別金利 年2.9% (固定金利/保証料込み)

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内(元金返済期間は6ヵ月)
- ご融資金額/1,000万円以内(1万円単位)
- お使いみち/新車購入、中古車購入、バイク購入、電動アシスト自転車購入、パーツ・オプションの購入・取付、免許取得、車検・修理、自動車保険、車庫設置、自動車購入資金の借換(申込本人が借入したローンに限る)
- 保証料/金利に含まれます。

WEB完結OK

教育プラン

通常金利 年2.6% ▶ 特別金利 年2.1% (固定金利/保証料込み)

- ご融資期間/3ヵ月以上16年以内(元金返済期間は卒業予定月まで)
- ご融資金額/1,000万円以内(1万円単位)
- お使いみち/申込入または申込入の子弟、扶養親族が学校(教育施設)に入学または在学するために必要な次の資金 ●幼稚園から大学、大学院、(法科大学院含む)、専門学校、各種学校、予備校などの学校納付金(入学金・授業料など)延長1年分 ●教材費、下宿費用、引越費用、受験費用、交通費等の1年分の付帯費用(100万円以内) ●留学費用 ●教育関連資金の借換資金
- 保証料/金利に含まれます。

WEB完結OK

フリーローン

ご融資利率 年4.00% ~ 年10.00% (固定金利/保証料込み)

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内
- ご融資金額/500万円以内(1万円単位)
- お使いみち/自由(事業性資金・おまとの資金も可)
- 保証料/金利に含まれます。
- ご融資利率/4.0%、7.5%、10.0%(保証料込み)
- ※保証審査費によりご融資利率が決定します。

WEB完結OK

カードローン

ご融資利率 年16.50%

※ただし、貸付限度額100万円または、当金庫の借入残高が100万円以上の方は年14.6%(保証料含む)

- ご契約期間/2年(借替更新)
- ※70歳以上の方は更新できません。
- 貸付限度額/50万円、100万円
- お使いみち/自由
- 保証料/金利に含まれます。

リピート借換 カーライフプラン..... ▲0.2% 教育プラン..... ▲0.1%

特別金利キャンペーン 金利引き下げ幅 年▲0.5%

下記の項目で2項目以上該当する方

- ①当金庫の住宅ローンをご利用されている方
- ②公共料金の口座振替を当金庫で行っている方、または変更された方(同居家族の方のご利用も対象)
- ③昨年全受取を当金庫で行っている方、または変更された方(同居家族の方も対象)
- ④給与振込を当金庫でご利用になっている方、または変更された方(申込みご本人様に限る)
- ⑤カードローンを同時にお申し込みの方、すでに契約済みの方
- ⑥空欄VISAカードを同時に申し込みの方、すでに契約済みの方

※詳細はお申し込みいただくお申し込み書とご契約書をご覧ください。

①～⑤は申し込み保証金が必要となりますので保証・保証人は不要です。

⑥は審査の結果ご審査に落ちない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

⑦金利変動の発生により内容を変更・中止させていただく場合がございます。

⑧知内のご融資期間につきましては、本支店窓口で確認ください。

⑨詳しくは、本支店窓口までお問い合わせください。⑩には必ずお申し込み書をご提出していただきます。

「つなぐ」は、こちらでどうぞ。

- 宇和島市役所ロビー ● 津島支所 ● 吉田支所 ● 三間支所 ● 中央図書館 ● 吉田図書館 ● 中央図書館津島分館 ● 生涯学習センター
- パフィオうわじま ● 宇和島市立病院ロビー ● 市立伊達博物館 ● 宇和島市立歴史資料館 ● きさいや広場 ● 道の駅みま ● シロシタ
- 畦地梅太郎記念美術館 ● 宇和島商工会議所 ● 盛運汽船 ● かどや(駅前本店・弁天町店・味奈味) ● ハイウェイレストラン宇和島 ● 和日舗
- 南楽園 ● 福 DON ● 岩崎書店 ● 木屋旅館 ● はまゆう薬局 ● パール薬局 ● ひまわり薬局 ● 小野商店(津島) ● 安藤コーヒー
- べにばら画廊 ● アトリエぱれっと ● あすも(津島) ● JR宇和島駅 ● JR松山駅 ● 香川・愛媛 せとうち旬彩館(東京)
- 宇和島信用金庫各支店 その他 ※宇和島市の「宇和島クラブ」に協賛業者として登録しています。

「つなぐ」の発行は、新春号(1月)、春号(4月)、夏号(7月)、秋号(10月)です。



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —